

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 岡本 巧
幹事 神野 公秀
会報委員長 兵藤 文男

2009 ~ 2010年度 国際ロータリー John Kenny (ジョン・ケニー) 会長テーマ

The Future Of Rotary Is In Your Hands ロータリーの未来はあなたの手の中に

(この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。)

第2666回例会プログラム

[当年度=26回目; 当月=4週目]

2010年(平成22年) 2月22日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 副会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/1) ……卓話
講師 特定非営利活動法人 ラル あゆみ
理事長 畑 和子 様
(紹介者 鈴木 豊 会員)
(3/8) ……創立記念例会
- 13:00 13. 本日のプログラム
卓話 「総合文化センター利用サービスについて」
講師 刈谷市総合文化センター
館長 石田 克己 様
(紹介者 南 健 会員)
14. 謝辞
15. 点鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言
- 13:30 17. 散会

出席

会員総数 95名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 14名 出席率 84.07%
前々回(2/6)の修正出席率 100%

会長報告

- 2月16日刈谷市民会館にて刈谷市交通安全推進協議会が開催され、岡本会長が出席されました。
- 2月19日刈谷市役所にて第2回刈谷市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会が開催され、神野幹事が出席して参りました。
- 2月18日、愛知カンツリークラブにて開催されました2月度例会にて、加藤英二会員がグロス89のベストで優勝されました。おめでとうございます。

副会長あいさつ

鬼頭 勝彦



本日は手締めその三ということで、新川締めをご紹介させていただきます。新川は、現在の東京都江戸川区を流れる一級河川で、中川と旧江戸川を結ぶ人工河川であります。当時は江戸の水運の大動脈として使用されていました。上方からの「下りもの」として清酒が江戸に送られますと、新川の河岸に上げられました。

この「下りもの」という語源ですが、江戸前期、上方で生産され、大消費地江戸へ輸送され消費されるものを総じて下りものと言いました。下りものには莫大な運送費が掛かるため、上方から江戸への下りものには不良品、低品質の物は除かれました。また、江戸から見ますと、上方から江戸に下る下りものは高級品ばかりであり、江戸近郊の物産は下りものと比較して低品質でありました。ですから、下りものではない低品質な物、転じて低品質な事柄を「下らない」と言うようになりました。現代の「くだらない」という言葉はここから来たようです。

ところで、当時、下り酒の7割から9割は^{せっせんじゅうにごう}撰泉十二郷と呼ばれた、伊丹や灘の周辺地域で造られた酒でした。それ以外では山城、河内、播磨、丹波、紀伊で造られた酒、あるいは中国ものと呼ばれ、伊勢湾沖で合流する伊勢、尾張、三河、美濃で造られた酒が、下り酒として江戸に入っていったようです。特に撰泉十二郷で造られる酒は味も品質も良く、江戸でも定評がありました。

上級酒である諸白はさらに好まれ、下り諸白と言って高値で取引されました。諸白というのは、掛米と^{かけまい}麴の両方に精白米を用いて醸した酒のことで、掛米のみに精白米を用いたものを^{かたはく}片白と言います。将軍の御膳酒に指定された、伊丹の酒「剣菱」もそのひとつであります。

さて、新川の川岸には有名な酒蔵が立ち並び、商談成立の祝いと、売り手買い手双方の繁盛を祈念して、次のような独特の「手打（手締）」が行われていたそうです。

○ございました（杯に酒を注ぎ終わる合図） お手を拝借
 いよーい・ヨイヨイヨイ
 こら・ヨイヨイヨイ
 こら・ヨイ
 シャーン・シャン
 ご・は・ん・じょ・う シャーン

この中で、ヨイヨイの掛け声と ご・は・ん・じょ・う の言葉のところは手を打ちながら、全体を七・五・三に打ちます。では実際に手締めをしてみます。

- 1、ございました
- 2、お手を拝借
- 3、いよーい・ヨイ(シャン)・ヨイ(シャン)・ヨイ(シャン)
 こら・ヨイ(シャン)・ヨイ(シャン)・ヨイ(シャン)
 こら・ヨイ(シャン)
- 4、シャーン・シャン・ご(シャン)・は(シャン)・ん(シャン)
- 5、じょ(シャン)・う(シャン)・シャン

こんな調子でしょうか。

皆様ありがとうございました。またの機会がありましたら、手締めその四をお話させていただきます。

卓 話

刈谷市総合文化センター運営方針

刈谷市総合文化センター
館長 石田 克己 様



市民の文化創造活動…

- ・指定管理者制度
 民間運営になったことによって料金が高くなるのではないかと→市の条例で定められた設定を守る為、高くはならない。
 民間になったことにより何でも

してもらえるのではないかとという過度の期待感
 →期待をしてもらうのは良いが、条例に反することはできない。(利用日の設定等)

- ・刈谷市の施設の料金は他の自治体と比べて安い。
- ・市民の文化創造活動拠点
 市民同志のコミュニケーションを活活化させる場。
 新しい文化施設ができることによって新しい出会いが創造できる。
 新しい刈谷の文化を創造する場としていきたい。
- ・主役は市民、館長以下全従事者はサポーター
 ・施設側が主導で「ついて来い！」とは絶対に言えない。
 市民側からのリクエストに応える為に施設の職員ががんばるが、できないものはできません。その際にできない理由をきちんと説明するように徹底している。
 また、代案を提供し、納得してもらえるようにしている。
 市民と協働で運営していきたい。
- ・市民と協働で刈谷の文化を見出し育む
 ・市民がフランクに利用できる施設を目指す。
 たとえば施設側の研修中にしか利用者との打合せができない場合は利用者との打合せを優先させる。
- ・場所の提供からサービスの提供
 ・常に問題提起をして来た。
 ・条例の文章に載っていない、いかに“サービス”を提供できるかが、今後のテーマになる。
 交通手段が多くなり、他の市等の施設を簡単に利用できる現在、市民ニーズを満たした施設ではないと生き残れない。
 チケットを利用者が買い易い方法を採用している。
 (チケットぴあや、ネット購入等)

刈谷 RC 2 月度ゴルフ例会

平成22年2月18日(木)

於：愛知 C.C.

成績	氏名	G	H	N
優勝	加藤 英二	89	7	82
2 位	盛田 豊一	90	4	86
3 位	廣根 実	94	8	86
B B	下谷 敏朗	113	18	95

